

## 仕様

項目	仕様	項目	仕様
サイズ	68cm(W)X30cm(D)X40cm(H)	ライン長	5~32cm(1cmステップ)
方式	インクジェット方式	ノズル増設	可能
メンブレンサイズ	3~32cm	試薬塗布量	10 $\mu$ l~40 $\mu$ l
試薬容器	1.5mlマイクロチューブ、15ml遠心管など		0.35 $\mu$ l~2 $\mu$ l/cm
ライン幅	最適条件にて1mm以下	価格	220万~

## 消耗品

	品名	品番	仕様	数量	価格(税抜)
	ノズル	NZA10075	75 $\mu$ m $\Phi$	1	24,000
		NZA10100	100 $\mu$ m $\Phi$	1	20,000
		NZA10125	125 $\mu$ m $\Phi$	1	24,000
		NZA10400	400 $\mu$ m $\Phi$	1	20,000
* 品番NZA10075,NZA10125は受注後の製作になりますので、納期6週間ほどかかります。					
	マイクロチューブセット	ILJ0100	ジュラコン	1	25,000
	マイクロチューブセット	ILJ0200	PEEK	1	32,000
	バルブセット(ノズルなし)	ILS0100	PEEK	1	110,000
	Oリング	SO0100		50	5,000
	テフロンチューブ	ILJ0010	テフロンチューブ +コネクタ	1	4,600
	15ml遠心管セット	ILJ0500	ジュラコン	1	25,000

仕様、価格は予告なく変更することがございますのでご容赦ください。

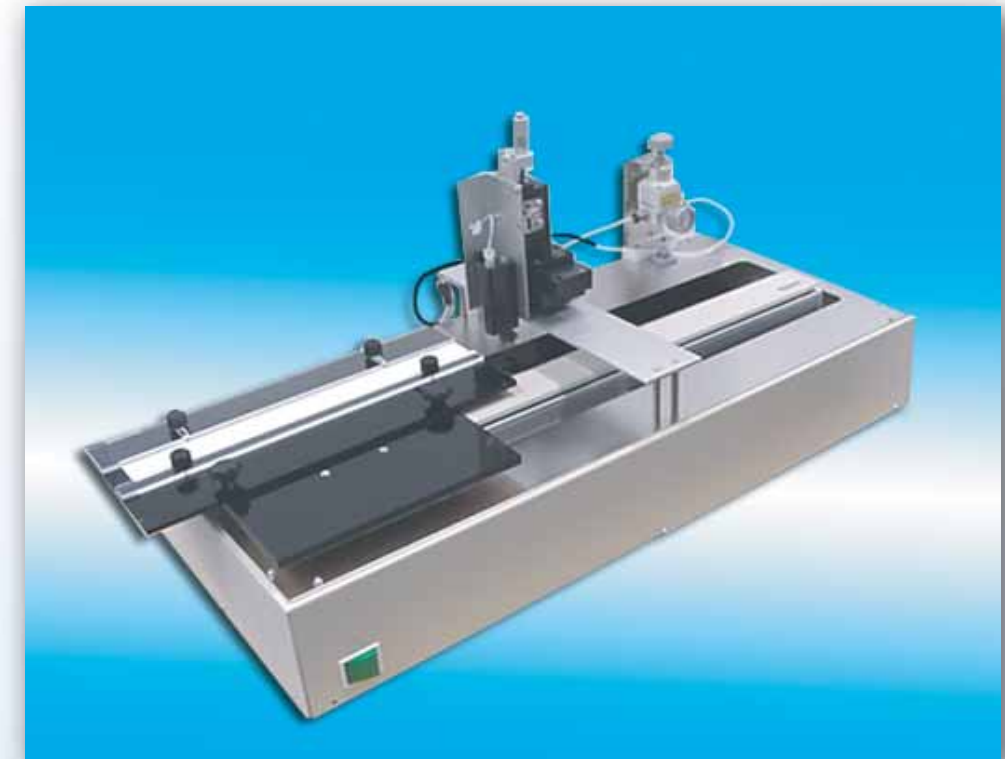
価格には消費税は含まれていません。

本カタログは2011年4月現在のものです。

株式会社システムバイオティックス

〒252-0203 神奈川県相模原市中央区  
東淵野辺1-13-1-504  
TEL 042-786-0340 FAX 042-786-0341  
http://www.systembiotics.com  
e-mail info@systembiotics.com

# Immuno Liner 200



## イムノクロマト用 インクジェット試薬塗布装置



株式会社システムバイオティックス

<http://www.systembiotics.com>

# 空気圧インクジェット方式でイムノクロマト用メンブレンに試薬のラインを引きます

★ ImmunoLiner200は本体と制御用ソフトウェアがインストールされたノートパソコンで構成されています ★

- インクジェット方式によりメンブレンを傷めません。
- ノズル固定方式のため線のブレが少ない。
- メンブレンを固定してスタートボタンを押すだけの簡単な操作。
- カスタマイズに対応します。

## ImmunoLiner200の原理

本体に装備されたポンプにてインクジェットバルブ系（試薬溶液系）に一定の圧力をかけます。圧力がかかった状態にてインクジェットバルブを微少時間開閉してインクジェットノズルから一定の間隔で抗体試薬溶液を吐出します。1cm当たりの吐出量を設定可能で、その値に比例してメンブレンの移動時間（移動スピード）が変化することになります。このインクジェットライン分注系においては、圧力と液の粘性によって線の太さや形状が変化しますので、単位当たりの塗布量を探索の上最適値を見つけてご使用下さい。



## ノズルユニット

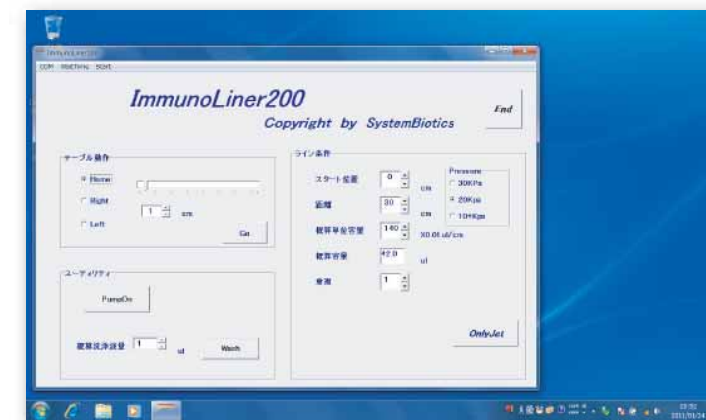
ノズルはY方向とZ方向につまみによって自在に移動が可能です。ノズルユニットのY軸の移動にてメンブレンに引くラインの位置が自在に設定可能です。現在3.5cmの間でのノズル位置の移動が可能です。Z軸も1cm程度の上下が可能です。

## 圧力調整部

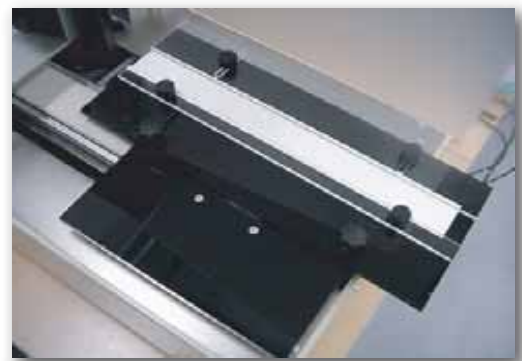


レギュレタにて圧力の変更ができます。

## ソフト画面

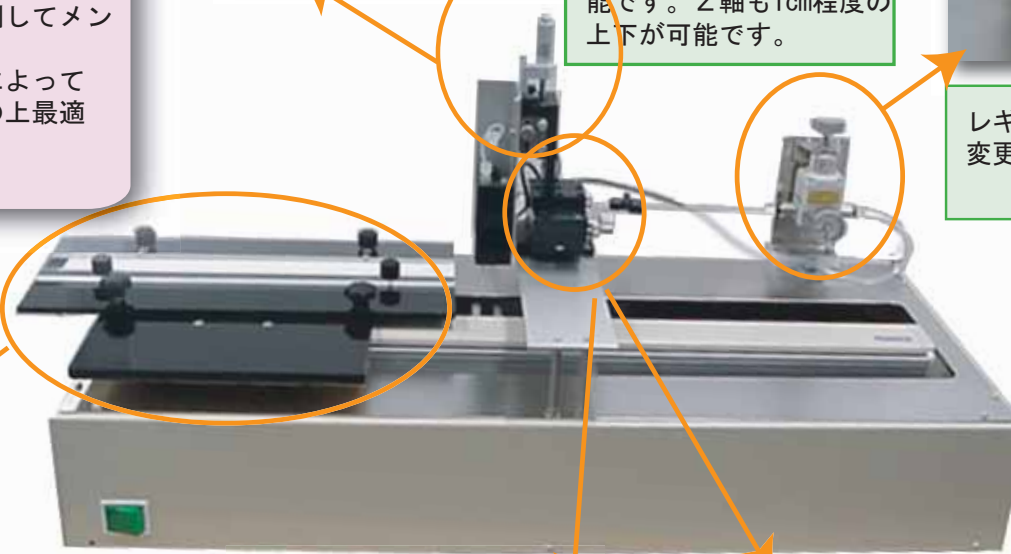


テーブルの移動、ポンプのON/OFF、ノズルの洗浄インクジェットライン分注条件設定（スタート位置、距離）、実際の分注量の確認などの設定が分かりやすい設定画面になっています。



## メンブレン固定ユニット・テーブル

手前の短いアクリルのチャンパーのねじおよび上側の幅広いアクリルチャンパーのねじを緩めて下台の間にメンブレンの片方の端を挿入してねじで固定します。もう片方のメンブレンの端を上側チャンパーの下に引き込むようにしてください。一端を引き込むことが出来たらゆっくりと残りの部分も上側アクリルチャンパーの下に引き込むようにしてメンブレンをねじで固定します。



## マイクロチューブユニット

ImmunoLiner200は1.5ml用のマイクロチューブを試薬溶液の保存容器として使用できます。ユニットはOリングでシールされ1.5mlのマイクロチューブに圧力がかけられるようになっています。マイクロチューブに空気圧をかける空気チューブ用のコネクタとマイクロチューブ内の試薬溶液をインクジェットノズルに送液するテフロンチューブとテフロンチューブを締めこんでマイクロチューブを密閉するPEEK製のコネクタからなっています。テフロンチューブの端はダイフロン製のフランジコネクタにてノズルユニットに接続されています。

## 操作手順

マイクロチューブユニットに1.5mlのマイクロチューブをセットします。



メンブレンのセット  
専用のメンブレン固定ユニットの右端にメンブレンを固定します。



ソフト画面でテーブルの動作ラインの条件  
(スタート位置、ラインの長さ、分注量)の設定



スタート

ライン分注が終了しますとテーブルは自動的にホーム位置に戻ります。